

平成 30 年第 2 回（6 月）定例会一般質問

6 月 18 日（月）

議席番号 13 番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨
1 安全・安心なまちづくりについて	市民が安心して暮らせるまちを構築することは、市の責務であります。市の防犯対策について伺う。
2 持続可能な豊後大野市づくりについて	基本政策の 3 本柱 ① 若者の定住化のための「働く場の確保」 ② 「子育て支援の充実」 ③ 「学校教育の充実」 について具体的な施策を伺う。

議席番号 9 番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨
1 豊かに利用される図書室、図書館を	① 三重町以外の 6 町の公民館図書室、移動図書館の充実を。 ② 新図書館・資料館の概算事業費約 19 億円は少しでも抑えるべき。新図書館に中庭は必要ですか。想定する人口規模は適正ですか。 ③ 新図書館・資料館が、豊かに利用されるための施策は。 ④ 財源内訳を伺う。

2 公契約条例の 制定を	公契約条例を制定する自治体が広がりを見せています。 2018 年 4 月 20 日現在では、「賃金下限設定」を持つ条例が 21 自治体、「賃金下限設定」のない「理念条例（基本条例）」が 26 自治体、「要綱に基づく指針」などで適正化をすすめているのが 18 自治体と、合計 65 自治体で制定されているとのことです。 制定する自治体が増える中で効果も表れはじめており、それは労働者だけでなく、受注業者や行政にとっても魅力的なものとの評価もあります。 公契約条例の適用範囲や効果について、どのように認識していますか。条例の制定に向けて、研究をすべきではありませんか。
-----------------	--

議席番号 8 番 内田俊和 議員

質問事項	質問の趣旨
1 農業振興について	昨年の 18 号台風における耕地災害の復旧状況について伺う。
2 税務行政について	固定資産税は 3 年に一度見直しが行われるが、評価額の決定等について、市民目線で分かりにくいことが多々あることから、固定資産税の評価等について伺う。

議席番号 3 番 吉藤里美 議員

質問事項	質問の趣旨
1 サイクリングハブ施設の利用状況等について	サイクリングハブ施設は、平成 29 年度予算で執行され、今年の 3 月下旬に完成し、4 月 28 日にオープニングセレモニーが行われました。オープンして、1 か月以上が経ちましたが、利用状況はいかがでしょうか。 5 月 22 日に隣保館にて行われた議会報告会では、多くの大野町の方から、「地元住民はこの施設ができることを全く知らなかった。」と言われました。 「電力の地産地消の啓発」のために「足湯」も設置されており、サイクリング以外のたくさんの方にも利用していただきたいと思いますし、また、地元の方に親しんでもらえる施設にしていかなければならないと思っています。改めて、市としてはどのような利活用を考えているかお伺いします。
2 市道の維持管理について	平成 29 年 6 月の議会一般質問における、衛藤竜哉議員の「支障木の伐採の取り組みについて」の質問に対して、「今後さらに調査しながら、必要であれば条例の導入に向けて検討します。」と答弁されています。 調査の結果と検討した内容を伺います。 また、現在、自治会が行っている道路愛護作業については、高齢化が進む中、実施が困難な自治会が増えてくることは明らかなです。特に中山間地では待ったなしの状況にありますが、対応策を伺います。
3 「市民の体力づくり」の取り組みについて	今年 3 月に策定された「豊後大野市スポーツ推進計画」のための「スポーツに関するアンケート調査」の結果をみると、「各種スポーツ教室」や「ニュースポーツ体験会」を望む方が多く、また、「いつでも自由に利用できる施設・設備」が不足しているとの回答が多い結果が掲載されています。このことから、生涯スポーツができる環境づくりが必要であると考えます。 今後、生涯スポーツの推進にあたり、どのような取り組みを行うのか伺います。

6月19日 (火)

議席番号5番 田嶋栄一 議員

質問事項	質問の趣旨
1 高齢者運転免許証自主返納支援事業について	① この支援事業については、どのような方法で市民に周知し、どのような申請手続が必要か。 ② 現在何名の方が自主返納され、その方々から意見要請等はないか。もしあるとすればどのようなことか。
2 JRのダイヤ改正に伴う本市の対策は	① JR九州はダイヤの一部見直しの可能性を示唆していることが報じられているが、市は今後どのような対策を講じるのか。
3 地震・風水害に対する防災対策は万全か	① 災害発生時には、災害規模によって三段階の体制がとられているが、配備人員は幹部のみである。一般職員の対応はどうなっているのか。 ② 職員の防災意識、危機管理意識啓発はどのように取り組んでいるのか。

議席番号 4 番 穴見眞児 議員

質問事項	質問の趣旨
観光施策について	① 豊後大野市には、ユネスコエコパークやジオパークなど数多くの観光資源が存在するが、今後どのように観光事業につなげていくのか伺います。 ② 観光事業で J R との連携が重要と思われるが現在どのような連携がされているか伺います。 ③ 豊後大野市に、観光目的で訪れる人口の把握はできているのか。また、そのデータの採取方法とデータの活用方法について伺います。 ④ 今年度、国民文化祭が開催され観光事業を推進するよいきっかけになると思われるが、市としてどのように捉えているのか伺います。

議席番号 17 番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨
1 災害出動等の防災に関することについて	近年、全国的に様々な災害が多発している。多くの人命や家屋、集落、広い地域を襲い、日々の生活にまだ復帰できないほどの大きな傷跡等をうかがうとき、本市の現況を危惧しなければならない。平成の時代になってから、市内でも大小数多くの災害にみまわれてきました。2016・2017 年、熊本・大分地震、九州北部豪雨、朝地町綿田地区の地すべり、台風 18 号による大被害は、復旧・復興に向けて、これから取り組む大きな課題です。 今年もいつ何時にどのような形で災害が発生するのか、不安は市民全員が感じていることだと思います。 これまでも市の防災対応等について質問し、要望や提案もしてきましたが、再度伺います。 ① 市民への周知方法の改善策は検討しているのか。 ② 国や県、消防団、消防本部とのつながりは大丈夫か。 ③ 例年市内での危険個所の把握をしているが、点検等はしたのか。

2 健康増進・疾病予防等の取組について	本市では、高齢化率の高い現状の中、高齢者を対象としたサロン、お元気広場、元気の出る体操教室等の活動が盛んです。これは素晴らしいことだと感じます。こうした活動は、高齢者が健康で、病気にかからない、かかりにくい体をつくります。また、閉じこもりの高齢者の対応など、楽しくコミュニケーションができ、生き生き暮らせる取り組みを継続して欲しいと思います。 一方、40代から定年退職した60代の方々への取り組みはどのような形になっているのか以前からわかりづらいのはどうしてでしょう。 健康診断の受診率にしてもなかなかアップしない年代層です。次の高齢者世代の健康を維持、向上、守るための施策は早急に取り組まなければいけないと思うが考えを伺います。 ① 特定健診等の健康診断受診率アップに向けての取り組み強化は。 ② 気軽にまた簡単に利用できそうな、市オリジナルの健康体操、ストレッチ等の開発推進を。 ③ 健康相談等の窓口をさらに広げる工夫は。
3 国民文化祭おおいた 2018 の成功に向けての対応は	いよいよ今年は国民文化祭おおいた 2018 が開催されます。大分県内でいろいろな大会行事が開かれ、それぞれの対象自治体で最終の準備がなされていることでしょう。 豊後大野市では3会場（エイトピアおおの、朝倉文夫記念館、神楽の里能場公園）でのイベントが開かれます。多くの方々が来市していただくように期待しますが、取り組み状況についてお伺います。 ① イベントの準備（内容的）の状況は。 ② 市内での文化祭に対する盛り上がりを感じられないがこれからの考えは。 ③ 国民文化祭という大きなイベントです。会場周辺やアクセス道についての整備が必要ではないか。気持ちのよいドライブで移動していただく為に、例年どおりの道路美化作業だけではなく、特別に市内一斉に作業をするような活動をするべきと思うが。

議席番号 16 番 首藤正光 議員

質問事項	質問の趣旨
1 都市計画について	① 計画区域のインフラ整備の現状は。 ② 計画区域の定住促進化対策は。
2 市有財産の現状について	① 未使用の土地件数は。また、それに農地は含まれているのか。 ② 土地の境界確認はできているか。 ③ 未使用の土地の払い下げの状況はどうか。
3 観光イベント補助金について	平成 29 年度予算と平成 30 年度予算が同額であるが、その整合性は。